

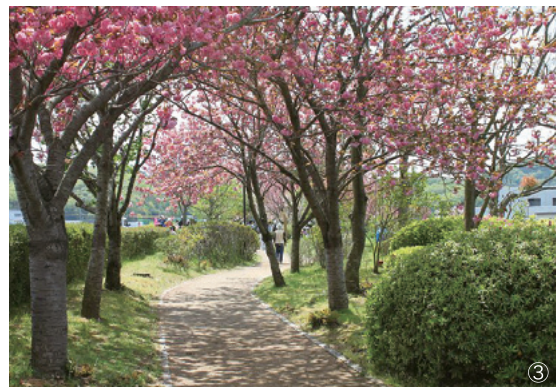
35種、260本の八重桜が咲き誇る やなせ苑八重桜コース

コース 小野駅～小野小学校～やなせ苑～白雲谷温泉ゆびか～小野小学校(解散)
～小野駅(約10キロ・一般向)

歩行時間 約2時間20分

日本の春といえば桜です。神鉄沿線には有馬の桜を筆頭に数多くの桜の名所が点在します。今回は、小野市にある桜づつみやなせ苑をご紹介します。

やなせ苑は、加古川上流浄化センターの修景施設として建設されたもので、浄化センター東側の加古川右岸堤防約850mに35種260本の八重桜が植えられています。桜づつみの入口には約7,000㎡の日本庭園「梁瀬苑」があり、処理水を利用した滝や噴水、芝生広場等が整備されています。



神鉄小野駅の改札を出て左へ。階段を下ると駅前ターミナル。右手に好古館。好古館の隣にある小野小学校が今回のコースのスタート・ゴール地点です。



小野小学校①は小野藩陣屋跡にたっており、白壁と校章の入ったいらかの校門は歴史を感じさせます。小学校をスタートして、やなせ苑を目指します。大島町の交差点で左に折れ直進します。小野南中学校を右手に見て進み、万勝寺川を渡り右に折れて加古川河川敷を歩きます。右手前方に浄化センターの建物が小さく見えます。河川敷を歩いて、万歳橋を渡ると左手がやなせ苑②です。日本庭園で休憩の後、白雲谷温泉ゆびかを目指し出発します。ここから南に約850mが「桜づつみ」③と呼ばれるお花見スポットで八重桜が260本植えられています。八重桜はボタンザクラともいい、4月中旬から下旬に大形の美しい花を開花させます。

浄化センターをまくように歩いて行くとJR加古川線の踏切。横断して約10分ほどで大歳神社。神社の右手の道を行くと車道に合流。横断してスロープを登って行くと白雲谷温泉ゆびか④に到着です。白雲谷池のほとりから温泉が湧き出したことから名付けられた白雲谷温泉ゆびかは暖和性のある泉質で、病後の回復に良い効果があ



ります。浴後に皮膚に塩分が付着して汗の蒸発を防ぐため、非常に温まる温泉です。無料の足湯もあり、ハイキングの休憩スポットには最適です。

温泉で一休みした後、ゴールの小野小学校に戻ります。

来た道に戻り、車道を東へ進みます。一部歩道がないので車には注意してください。再び万歳橋を渡り、道路を横断して左へ。住宅街の中を約20分ほど歩くと県道18号線に合流。道路の向う側に住吉神社が見えます。この神社は小野藩主一柳家の氏神として厚く信仰されています。

万勝寺川を渡り左に折れ、少し行くと右手に大島出水(すい)公園があります。出水とは、自然に水が湧き出すことで大島町の出水は特に大きく三つの池からできていて、西側の池については公園として整備されています。ここを右に折れ約10分ほど行くと好古館の前に到着します。ゴールの小野小学校はすぐそこです。

爽やかな春風の中、ハイキング、お花見、温泉が楽しめる贅沢なコースを歩いてみませんか。

